

新釧路川ハザードマップを活用した「初の洪水避難訓練」～北海道釧路市

L2洪水浸水想定公表により、新たに浸水範囲となった地区を対象とし、釧路市が初めて「洪水避難訓練」を河川管理者と連携のもと実施しました。

- ・大雨により新釧路川の水位が避難判断水位に到達した想定で、堤防決壊で浸水のおそれのある釧路市昭和地区を対象とした住民避難訓練を実施しました。
- ・訓練は、河川事務所長からの「ホットライン」で開始され、住民避難訓練、浸水防止（土のう積み）訓練、排水ポンプ車出動訓練（河川管理者）、炊き出し訓練、避難所開設訓練などを実施しました。

ホットライン（河川事務所－釧路市）



- とき 平成29年10月30日（月）
- 場所 釧路市鳥取コミュニティセンター、鳥取小学校、鳥取西小学校
- 訓練想定 大雨により新釧路川の水位が氾濫危険水位に到達する見込み
- 参加機関 釧路市防災会議、昭和地区連合町内会、釧路市赤十字奉仕団
釧根地区トラック協会、北海道LPガス協会釧路支部
釧路市消防本部、北海道開発局釧路開発建設部 等
- 参加人数 約200人（住民、関係機関含む）
- （参考）
- ・ H28. 6 新釧路川の洪水浸水想定区域図を公表（国管理河川）
 - ・ H29. 3 新釧路川の洪水ハザードマップを更新、住民へ配布（釧路市）
 - ・ H29. 10 新釧路川 洪水避難訓練【今回】



住民避難の様子



住民による浸水防止訓練



開発局による排水ポンプ車出動訓練
(内水排除支援の説明)